

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州の助産師教育

1. ブリティッシュ・コロンビア(BC)州の周産期医療の現状



BC 州では、正常分娩入院は一日である。分娩室は LDRP (Labor, Delivery, Recovery, and Postpartum) となっており、入院から退院にいたるまで一部屋で過ごすことができる。出産は、病気ではないという考えでそれ以上の入院は理由がない限り認めず、医療費の抑制を図っている。退院後は訪問看護師に連絡が行き、48 時間以内に訪問し、2-5 日以内に問題がある場合は

その後も訪問する。通常は 2 回訪問する。助産師のケアを希望する場合は数週間毎日の訪問がある。産後健診は、分娩 2-3 週間後に褥婦自身が家庭医を受診する。BC 州では、妊娠 20 週から 24 週の間奇形が発見された場合は、妊娠中絶が可能である。13 歳から自分の判断で決定ができる。医療費の削減という意味から、超音波検査は必要と判断された場合のみ行われる。超音波検査に限らず、不必要なものは利用しないようになっている。胎児の超音波検査を希望する妊婦は、一般のクリニックで自費による検査を受けている。分娩を取り扱う助産師は、現在州内で 230 人である。助産師は、BC 州内の分娩の 19% を取り扱っている。助産師は、健康体で順調である妊産褥婦の妊娠初期から分娩後 6 週までのケア、生まれた赤ちゃんの生後 6 週までケアする。それぞれが独立しており、地域をベースに継続ケア、インフォームドチョイス、出産場所の選択を行っている。また処方権を持っており、家庭医と同等の扱いを受けている。

2. ブリティッシュ・コロンビア(BC) 州での助産師教育

BC 州での助産師教育は UBC が 2002 年から始めたダイレクトエントリーコース（看護師教育を前提とせず、助産師教育のみを受ける制度）がある。4 年生の学士課程である。毎年 20 名の定員で助産師を輩出している。

3. ブリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) の助産コース概要

助産コースの学生は、事前に BIOL 153（解剖学と生理学）と ENGL 112（卒業論文執筆のための戦略）を完了していなければならない。

1 年時は、UBC バンクーバーキャンパスで行われる。助産学の専門科目の準備のために用意されている薬理学、母乳ケア、女性の健康問題、教養科目を受講する。

2 年、3 年、4 年の間に必要とされている臨床実習の単位の取得を完了していなければな

らない。その内少なくとも一つは農村地域での臨床実習を完了する必要がある。

助産コース終了後、助産学学士(Bachelor of Midwifery, or BMW)取得しカナダ助産師登録試験 (CMRE)を受けたのち、助産師としてブリティッシュ・コロンビア助産委員会の資格認定を受け登録をする。必要要件は、2年間のうちに少なくとも40例の分娩介助を経験すること、その内20例は継続事例とする。また40例の分娩介助の内10例は、病院外の分娩を経験することとしている。

4. オプショナルコース : Global Citizenship



開発途上国などのヘルスケアシステムの資源が不十分でないところでの助産ケアの実践を学ぶコースである。

ここでは、資源が不十分なところでの分娩を取り扱う方法を経験できる機会となっている。ここで学んだスキルは、熟練したマタニティケアスキルが不足しているようなブリティッシュ・コロンビアの山間部や遠隔地に対応できるようにすることを目指している。

現在、オランダ、ザンビア、ネパール、ウガンダと国際協力をもち活動している。

参考文献

・黒田裕子, 成田 伸: カナダにおける女性医療視察調査—カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州における女性医療から今後の日本の女性医療を考える—自治医科大学看護学部紀要, 4 巻, 75-81, 2006

・CAM カナダ助産師協会のホームページ <<http://www.canadianmidwives.org/>> 2016年8月27日アクセス

・ブリティッシュ・コロンビア大学助産学部のホームページ <<http://midwifery.ubc.ca/>> 2016年8月27日アクセス